

2025年9月25日

各位

株式会社三井住友銀行

住友金属鉱山株式会社へのシンジケーション形式による
「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の組成について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕）（以下、「三井住友銀行」）は、住友金属鉱山株式会社（代表取締役社長：松本 伸弘）（※1 以下、「住友金属鉱山」）に対し、「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」を提供いたしました。

「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」は、企業の事業活動が環境・社会・経済にもたらすインパクト（ポジティブな影響とネガティブな影響）を包括的に分析・評価し、サステナビリティ経営の実現に向けた活動を継続的に支援することを目的とした融資です。

【本ローンの概要】

契約日	2025年9月25日
組成金額	100億円
アレンジャー	三井住友銀行
エージェント	三井住友銀行
契約期間	3年・5年
貸付人（五十音順）	株式会社愛媛銀行、株式会社大分銀行、株式会社佐賀銀行、株式会社山陰合同銀行、株式会社筑波銀行、株式会社みなと銀行、株式会社もみじ銀行、株式会社りそな銀行、農林中央金庫

三井住友銀行が住友金属鉱山に対して実施したポジティブ・インパクト・ファイナンスについて、ポジティブ・インパクト金融原則（※2/以下、「PIF 原則」）に適合していることを確認したセカンドオピニオンを第三者評価機関である株式会社格付投資情報センター（※3/以下、「R&I」）より取得しています。また、三井住友銀行においても、自行のポジティブ・インパクト・ファイナンスの運営体制が PIF 原則に適合している旨のセカンドオピニオンを R&I より別途取得しています。

住友金属鉱山は、住友の源流事業である鉱山運営や製錬事業を受け継ぐ大手の非鉄金属企業であり、資源開発や非鉄金属製品・電池材料・機能性材料の製造・販売などを手掛け、生活に欠かせない素材を創業から 430 年以上にわたって社会に提供し続けています。

同社グループでは、経営理念に「地球および社会との共存」と「人間尊重」を、経営ビジョンに「技術力」と「ものづくり企業としての社会的使命と責任」を掲げ、資源の確保や高品質な材料の提供を通じて企業価値を高める考えを持っており、長期ビジョンとして「世界の非鉄リーダー」の

実現を目指しています。また、この長期ビジョン実現に必要な重要課題を特定しており、各重要課題について 2030 年時点のありたい姿を設定しています。今回特定したインパクトはこれらの実現に資するものであり、リサイクル処理量の増大などを通じた安定した資源供給、GHG 排出量の削減、自然関連リスクと機会の特定・対応・開示、女性管理職数の増大、重篤災害ゼロ等を重点取組項目及び評価指標（KPI）として設定しています。

三井住友銀行が住友金属鉱山に対してポジティブ・インパクト・ファイナンスを提供するにあたり、同社の事業活動に関連する重要なインパクト領域を評価して決定した重点取組項目及び評価指標は次の通りです。

<重点取組項目及び評価指標>

重点取組項目	目標・評価指標（KPI）	関連する SDGs
非鉄金属の安定供給とサーキュラーエコノミーへの貢献	<評価指標> ニッケル生産量（ニッケル量） <目標> 2030 年度までに 10 万 t/年	
	<評価指標> 銅リサイクル処理量（銅量） <目標> 2030 年度までに 14 万 t/年	
カーボンニュートラル社会への貢献	<評価指標> GHG 排出量（Scope1+2）削減率 <目標> 2030 年度までに 2015 年度比 38% （内訳 国内 50%、海外 24%）	
	<評価指標> GHG 排出量（Scope3）削減率 <目標> 2025 年度末：現状の把握と目標設定	
地球環境保全	<評価指標> 自然関連リスクと機会の特定・対応・開示 <目標> 2026 年度末：当社グループ事業の優先地域への対応 2030 年度末：重要なバリューチェーンへの対応	 

人的資本経営	<評価指標> 女性管理職比率・人数 <目標> 2030年度までに連結18%、単体7%（50名）	 5 ジェンダー平等を 実現しよう
	<評価指標> 重篤災害件数 <目標> 2030年度までに0件	 8 働きがいも 経済成長も

<ご参考>

※1 住友金属鉱山株式会社 ホームページ
<https://www.smm.co.jp/>をご参照ください。

※2 ポジティブ・インパクト金融原則とは

SDGsの達成に向け、金融機関が積極的な投融資を行うための原則として、2017年1月に国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）により策定されたものです。資金提供先企業のネガティブな影響を軽減し、現実的かつ信頼性のある方法でポジティブな影響を高めるための資金提供のあり方を定めており、「定義」、「枠組み」、「透明性」、「評価」の4つの原則で構成されています。

※3 株式会社格付投資情報センター ホームページ

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/sustainabilityfinance/index.html>をご参照ください。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

法人戦略部 サステナブルソリューション室

TEL : 03-4333-8260

このお知らせは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。